



平成27年11月16日

各位

会社名 株式会社小僧寿し  
代表者名 代表取締役社長 磯村 明彦  
(JASDAQコード9973)  
問合せ先 取締役財務経理部長 片野 裕之  
(電話番号 03-6226-4400)

(訂正・数値データ訂正)「平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正について

当社は、平成27年5月15日に開示致しました「平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正を致しましたので、お知らせいたします。

また、数値データについても訂正がございましたので、訂正後の数値についてもお知らせ致します。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成27年11月16日付)「過年度決算短信等の訂正および有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(訂正前)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,811	△44.1	△63	—	△51	—	△91	—
26年12月期第1四半期	3,241	△22.8	△181	—	△153	—	△156	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △91百万円(—%) 26年12月期第1四半期 △156百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△3.07	—
26年12月期第1四半期	△8.82	—

(訂正後)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,811	△44.1	△21	—	△30	—	△70	—
26年12月期第1四半期	3,241	△22.8	△172	—	△144	—	△147	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △70百万円(—%) 26年12月期第1四半期 △147百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△2.37	—
26年12月期第1四半期	△8.32	—

## (2) 連結財政状態

(訂正前)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	2,802	837	29.8	28.11
26年12月期	3,699	929	25.1	31.18

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 836百万円 26年12月期 927百万円

(訂正後)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	2,861	900	31.4	30.21
26年12月期	3,740	970	25.9	32.58

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 898百万円 26年12月期 969百万円

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年3月31日)における我が国経済は、企業収益に改善の動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安に伴う実質所得の低下など消費動向は依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、お客様の根強い節約志向が続く中で販売競争が激化するとともに、原材料価格の上昇もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「赤字体質からの脱却、黒字転換の実現」を当期の事業方針の主題として掲げており、当社の主軸事業である持ち帰り寿司事業の再建を目的とした、不採算店舗の閉店及びオペレーションの見直しによる収益構造の改善を実施しております。また一方で、持ち帰り寿司事業とは異なる、収益の柱となる事業を創出するため、ラーメン事業への進出を進めてまいりました。

以上の結果、売上高に関しましては、事業方針に掲げる不採算店舗の撤退を実施したことに起因し、売上高は18億11百万円(前年同期比44.1%減)となりました。営業損失は、不採算店舗の閉店及びオペレーションの見直しを実施したことから収益構造の改善が進みましたが、当第1四半期連結累計期間内において閉店いたしました不採算店舗の損失の影響や、株主優待券の駆け込み消費が想定以上に発生したことにより、63百万円の営業損失(前年同期は1億81百万円の営業損失)、経常損失は51百万円(前年同期は1億53百万円の経常損失)となりました。また四半期純損失は、閉鎖店舗に係る退職金の支払い等が発生したため、91百万円(前年同期は1億56百万円の四半期純損失)となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年3月31日)における我が国経済は、企業収益に改善の動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安に伴う実質所得の低下など消費動向は依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、お客様の根強い節約志向が続く中で販売競争が激化するとともに、原材料価格の上昇もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「赤字体質からの脱却、黒字転換の実現」を当期の事業方針の主題として掲げており、当社の主軸事業である持ち帰り寿司事業の再建を目的とした、不採算店舗の閉店及びオペレーションの見直しによる収益構造の改善を実施しております。また一方で、持ち帰り寿司事業とは異なる、収益の柱となる事業を創出するため、ラーメン事業への進出を進めてまいりました。

以上の結果、売上高に関しましては、事業方針に掲げる不採算店舗の撤退を実施したことに起因し、売上高は18億11百万円(前年同期比44.1%減)となりました。営業損失は、不採算店舗の閉店及びオペレーションの見直しを実施したことから収益構造の改善が進みましたが、当第1四半期連結累計期間内において閉店いたしました不採算店舗の損失の影響や、株主優待券の駆け込み消費が想定以上に発生したことにより、21百万円の営業損失(前年同期は1億72百万円の営業損失)、経常損失は30百万円(前年同期は1億44百万円の経常損失)となりました。また四半期純損失は、閉鎖店舗に係る退職金の支払い等が発生したため、70百万円(前年同期は1億47百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は28億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億96百万円の減少となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金が2億12百万円、現金及び預金が1億90百万円、商品が1億52百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は19億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億5百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金が2億75百万円、未払金が2億65百万円減少したこと等によるものです。

株主資本は、当第1四半期連結累計期間の業績を反映して91百万円減少し、8億36百万円となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は28億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億79百万円の減少となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金が2億12百万円、現金及び預金が1億90百万円、商品が1億52百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は19億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億8百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金が2億80百万円、未払金が2億65百万円減少したこと等によるものです。

株主資本は、当第1四半期連結累計期間の業績を反映して70百万円減少し、8億98百万円となりました。

#### 4. 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,113	1,066,766
受取手形及び売掛金	439,852	226,949
商品	303,661	151,047
貯蔵品	20,759	21,844
その他	<u>425,905</u>	<u>293,226</u>
貸倒引当金	△158,091	△139,106
流動資産合計	<u>2,289,202</u>	<u>1,620,728</u>
固定資産		
有形固定資産	183,544	133,311
投資その他の資産		
投資有価証券	7,232	7,232
敷金及び保証金	1,071,123	1,002,218
長期前払費用	3,727	3,238
破産債権等に準ずる債権	430,664	294,608
その他	37,725	31,233
貸倒引当金	△324,192	△289,994
投資その他の資産合計	<u>1,226,280</u>	<u>1,048,536</u>
固定資産合計	<u>1,409,824</u>	<u>1,181,848</u>
資産合計	<u>3,699,026</u>	<u>2,802,576</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,731	234,597
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
リース債務	6,125	6,110
未払金	670,839	405,633
未払法人税等	21,479	6,463
賞与引当金	2,300	3,302
資産除去債務	145,277	72,427
店舗等閉鎖損失引当金	79,251	37,109
その他	190,141	157,541
流動負債合計	1,825,145	1,123,186
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
リース債務	10,217	8,633
資産除去債務	259,044	260,674
長期未払金	264,984	264,200
訴訟損失引当金	22,757	22,757
その他	187,775	85,380
固定負債合計	944,778	841,645
負債合計	2,769,924	1,964,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,769,338	2,769,338
資本剰余金	1,521,820	1,521,820
利益剰余金	△3,356,126	△3,447,484
自己株式	△7,393	△7,393
株主資本合計	927,639	836,281
新株予約権	1,462	1,462
純資産合計	929,102	837,744
負債純資産合計	3,699,026	2,802,576

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,113	1,066,766
受取手形及び売掛金	439,852	226,949
商品	303,661	151,047
貯蔵品	20,759	21,844
その他	<u>466,988</u>	<u>351,675</u>
貸倒引当金	<u>△158,091</u>	<u>△139,106</u>
流動資産合計	<u>2,330,284</u>	<u>1,679,176</u>
固定資産		
有形固定資産	183,544	133,311
投資その他の資産		
投資有価証券	7,232	7,232
敷金及び保証金	1,071,123	1,002,218
長期前払費用	3,727	3,238
破産債権等に準ずる債権	430,664	294,608
その他	37,725	31,233
貸倒引当金	<u>△324,192</u>	<u>△289,994</u>
投資その他の資産合計	<u>1,226,280</u>	<u>1,048,536</u>
固定資産合計	<u>1,409,824</u>	<u>1,181,848</u>
資産合計	<u>3,740,109</u>	<u>2,861,025</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	506,258	225,914
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
リース債務	6,125	6,110
未払金	670,839	405,633
未払法人税等	21,479	6,463
賞与引当金	2,300	3,302
資産除去債務	145,277	72,427
店舗等閉鎖損失引当金	79,251	37,109
その他	193,089	162,162
流動負債合計	1,824,621	1,119,124
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
リース債務	10,217	8,633
資産除去債務	259,044	260,674
長期末払金	264,984	264,200
訴訟損失引当金	22,757	22,757
その他	187,775	85,380
固定負債合計	944,778	841,645
負債合計	2,769,399	1,960,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,769,338	2,769,338
資本剰余金	1,521,820	1,521,820
利益剰余金	△3,314,519	△3,384,973
自己株式	△7,393	△7,393
株主資本合計	969,246	898,792
新株予約権	1,462	1,462
純資産合計	970,709	900,255
負債純資産合計	3,740,109	2,861,025



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	3,241,011	1,811,645
売上原価	<u>1,671,519</u>	<u>883,474</u>
売上総利益	<u>1,569,491</u>	<u>928,171</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,751,281</u>	<u>991,378</u>
営業損失(△)	<u>△181,789</u>	<u>△63,207</u>
営業外収益		
受取利息	251	126
受取配当金	19,115	—
受取賃貸料	56,435	30,748
貸倒引当金戻入額	—	<u>21,291</u>
その他	17,778	8,729
営業外収益合計	<u>93,580</u>	<u>60,896</u>
営業外費用		
支払利息	2,800	5,924
貸貸資産関連費用	47,631	31,281
その他	15,167	12,029
営業外費用合計	<u>65,600</u>	<u>49,235</u>
経常損失(△)	<u>△153,809</u>	<u>△51,547</u>
特別利益		
固定資産売却益	—	16,507
新株予約権戻入益	4,114	—
その他	—	1,000
特別利益合計	<u>4,114</u>	<u>17,507</u>
特別損失		
特別退職金	—	45,136
解約違約金	3,650	—
その他	305	9,253
特別損失合計	<u>3,955</u>	<u>54,389</u>
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△153,649</u>	<u>△88,429</u>
法人税、住民税及び事業税	2,819	2,928
法人税等合計	<u>2,819</u>	<u>2,928</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△156,468</u>	<u>△91,358</u>
四半期純損失(△)	<u>△156,468</u>	<u>△91,358</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	3,241,011	1,811,645
売上原価	<u>1,662,675</u>	<u>862,570</u>
売上総利益	<u>1,578,335</u>	<u>949,075</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,751,281</u>	<u>970,087</u>
営業損失(△)	<u>△172,945</u>	<u>△21,011</u>
営業外収益		
受取利息	251	126
受取配当金	19,115	—
受取賃貸料	56,435	30,748
その他	17,778	8,729
営業外収益合計	<u>93,580</u>	<u>39,604</u>
営業外費用		
支払利息	2,800	5,924
貸貸資産関連費用	47,631	31,281
その他	15,167	12,029
営業外費用合計	<u>65,600</u>	<u>49,235</u>
経常損失(△)	<u>△144,965</u>	<u>△30,643</u>
特別利益		
固定資産売却益	—	16,507
新株予約権戻入益	4,114	—
その他	—	1,000
特別利益合計	<u>4,114</u>	<u>17,507</u>
特別損失		
特別退職金	—	45,136
解約違約金	3,650	—
その他	305	9,253
特別損失合計	<u>3,955</u>	<u>54,389</u>
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△144,805</u>	<u>△67,525</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>2,819</u>	<u>2,928</u>
法人税等合計	<u>2,819</u>	<u>2,928</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△147,624</u>	<u>△70,454</u>
四半期純損失(△)	<u>△147,624</u>	<u>△70,454</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△156,468</u>	<u>△91,358</u>
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	<u>△156,468</u>	<u>△91,358</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△156,468</u>	<u>△91,358</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△147,624</u>	<u>△70,454</u>
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	<u>△147,624</u>	<u>△70,454</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△147,624</u>	<u>△70,454</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント利益又は損失(△)	<u>△37,662</u>	<u>16,913</u>	<u>△20,748</u>	△161,041	<u>△181,789</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用161,041千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,424,208	387,437	1,811,645	—	1,811,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,424,208	387,437	1,811,645	—	1,811,645
セグメント利益又は損失(△)	<u>△26,079</u>	45,128	<u>19,048</u>	<u>△82,255</u>	<u>△63,207</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用82,255千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しF C事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,455,483	785,527	3,241,011	—	3,241,011
セグメント利益又は損失(△)	<u>△30,961</u>	<u>19,057</u>	<u>△11,904</u>	△161,041	<u>△172,945</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用161,041千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年1月1日 至平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しF C事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,424,208	387,437	1,811,645	—	1,811,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,424,208	387,437	1,811,645	—	1,811,645
セグメント利益又は損失(△)	<u>△5,175</u>	45,128	<u>39,952</u>	<u>△60,963</u>	<u>△21,011</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用60,963千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。